

様式第五十の二（第48条第6項関係）

認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表

1. 認定の日付

2021年12月17日

2. 認定事業適応事業者の名称

ローム・アポロ株式会社

3. 認定事業適応計画の実施期間

2021年12月～2024年3月

4. 認定事業適応計画の実施状況

（1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

本計画では、地球規模のCO2排出量削減が課題となっている状況を踏まえ、脱炭素化に貢献できる新商品の供給という顧客ニーズに対応することや生産プロセスでの脱炭素化の推進などを目標に掲げております。

この計画のうち、令和4年度においては、生産装置付帯設備（純水装置、冷却水ポンプ等）の更新や少量多品種生産に対応する新型生産設備の導入を進めました。

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

令和4年度においては、当社全体の炭素生産性が令和2年度（2020年度）と比較して25.7%低下しました。増減要因については、別紙「炭素生産性算出根拠資料」をご参照ください。

令和5年度以降については、再生可能エネルギーを120,000kWh/年購入することにより、炭素生産性が向上する見込みです。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

財務内容の健全性の向上指標については、令和3年度は有利子負債／CFが-1.6倍となり、経常収支比率が121.8%となりました。

（4）実施した事業適応計画の内容及び適用を受けた支援措置の内容

令和4年度においては、自己資金により、事業適応計画の認定申請書別表2-2に記載した資産を概ね取得しました。取得した資産はすべて予定通り事業供用し、令和4年度に取得予定していた設備のうち一部の資産については令和5年度に実施予定です。

また、令和4年度中に事業供用した資産についてカーボンニュートラルに向けた投資促進税制の適用（税額控除10%）を受けました。